

センターだより



夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども

四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002



令和6年能登半島地震被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

四日市市教育長 廣瀬琢也氏

新春対談

四日市市幼児教育センター所長 藤原良美

先月の当センターだよりで報告させていただいたように「四日市市就学前教育・保育カリキュラム」を策定し、今年度内の発刊に向けて調整しています。保護者や幼保こ小中の先生をはじめとする全ての関係者のウェルビーイングの実現へとつなげていく期待を込め、廣瀬教育長と当センター所長の対談を掲載します。

所長 本日はご公務で大変お忙しい中、お時間を作っていただきありがとうございます。

早速本題に入らせていただきます。幼児教育センターの研修でも「幼保こ小の接続」について講座を設定しております。また、実践研修として、公開保育（研究）・実践検討会を実施しました。これらの研修には、小中学校関係職員の皆様にもご参加いただき嬉しく思っています。しかし、各現場では、就学前教育・保育施設の多種多様性を活かしながら、子どもの姿や実践を言語化し、価値づけし、伝えあうことの難しさを感じている現状もあります。

そこで、就学前の学びの芽生えと小学校以降の自覚的な学びについてお聞かせください。

教育長 乳幼児期における学びの芽生えは、子どもが生き生きと意欲的に夢中になっている姿の中でこそ、生まれてくるものだと思います。こういった子どもの姿は、小学校以降も引き継がれていかなければいけない姿であると言えます。そのためには、内発的動機を高めて学びを深める授業づくりが必要です。小学校以降は、学年が進むにつれ、教えること、つまり身に付けさせたい知識・技能が多くなっていきますが、自分の中で問いが生まれ、その問いに向かって答えを見つけようと学ぶ姿、子どもが学びたいと意欲を持ち、学んだことが自分の中で「分かった・できた」と実感できる、こういった体験の積み重ねが自覚的な学びを支えるものであると思います。探求する過程で、感情が動き表情に表れる瞬間をどう作り、どう捉えていくかが、授業者に問われていると思います。

所長 子ども一人ひとりの発達と学びをつなぐポイントはいかがでしょうか。



教育長 先ほど、公開保育のお話がありました。確かに公開保育での子どもの活動の様子については、小中学校の教員には、それまでの過程や本時の活動のねらいなどの、説明を受けないと分からないことが多いと思います。しかし、見る側の視点として、校種の違いがあっても、先にも申し上げた通り、子どもの表情を読み取ることはできると思います。今、目の前の子どもが何によって、どう心を動かされているのかを見取り、考察し、保育・教育の主体者と観察者が意見を交流し合うことで、子どもの学びのありようをつかむことができるのではないのでしょうか。“子どもの見取り”ができないと、非認知能力を育てることも難しいと思います。子どもの表情や気づきを話し合うことで、学びに向かう姿を“見取る”ことはできると思います。それを語り合うことが、それぞれの発達と学びをつなげていくことになるのだと思います。

所長 最後に幼児教育センターに期待することをお話してください。

教育長 就学前の直接的な体験を通じての学びの芽生えを大事にすることを、どの園も共通認識し、進めたいと思います。また学校現場でも同じですが、大事にしたいことを価値づけていくために、研修で学んだことを振り返り、語り合うことで、背景や経験などの違う保育者同士がつながり、多様な考えを知り、自身を高めていくことができると思います。是非、子どもの姿や実践の中で、“子どもの見取り”を通して、保育者自身が主体的・対話的な学び(研修)を進めていってほしいです。そして、子どもに関わっている保育者のみなさんが、実践の中で大事にしたいことを問われたときに、自分の言葉で語れることができるようになってもらいたいと思います。

— 教育長との対談は、短い時間でしたが、内容はとても濃く、ソフトな語り口の中に「子どもにとっての学びとは」という視点がちりばめられ深く鋭く刺さりました。当センターへの期待の言葉もいただき嬉しく思いました。

新春に、この一年への目標にかかわるメッセージをいただき、誠にありがとうございました。

学びの過程に「～したい」という思いが出てくる。その子にとってこのような気持ちが浮かんでくるようなかわりを求めていきたい……………

新刊紹介

手に
取って
読んで
ほしい本



子ども白書 2023
子どもを守る会編
子どもの人権についての特集があります。



園の避難訓練ガイド
天野珠路編著
もう一度、避難訓練を見直そう。



改訂 乳児保育
吉本和子
「一人ひとりを大切に育てる」ための乳児保育の実践解説書。